参考様式

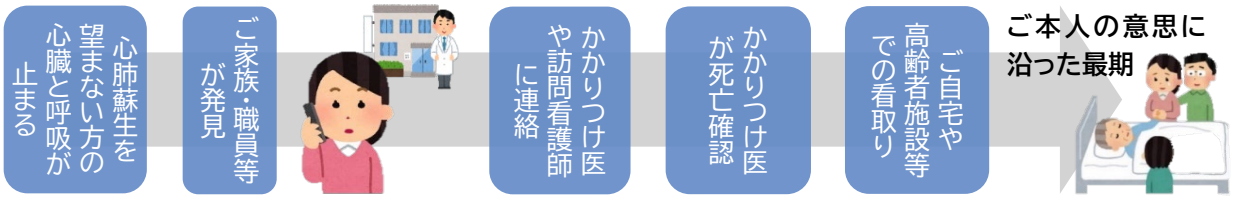
ACP 人生会議

最期まで自分らしく
あなたの意思を救急隊に伝えましょう

自分らしく人生を全うするためには、あなた自身が希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むのかを、あなた自身で前もって考え、信頼できる周囲の人たちと繰り返し話合い、共有しておく「人生会議（ACP）」が大切です。

特に、人生の最終段階にあり「心肺蘇生等を行わずにご自宅や施設で最期を迎える」意思がある場合、医療・ケアチームと体制を整え、心臓や呼吸が止まった時に最初に連絡する先を決めておくことが大切です。

「ご自宅や施設で最期を迎える」体制を整えている場合のイメージ



万が一、間違えて救急車を要請してしまった場合に備え、あらかじめ、あなたの意思を伝える**書面を準備**しておくと、救急隊にその意思が伝わりやすくなります。

心臓と呼吸が止まった時の心肺蘇生等の希望について	□ 私は心肺蘇生等を希望します。 ※下記の書面の作成は不要です。	□ 私は心肺蘇生等を希望しません。 ※下記の書面を作成してください。

ご本人の意思表示

私は、家族やかかりつけ医と今後の治療方針について十分話し合いを行ったうえで、心臓や呼吸が止まった時には救命処置は希望せず、看取りをしてもらいたい意思があるため、心肺蘇生等は実施しないでください。

ご本人署名　　記入日　　年　　月　　日

（直筆）

（代筆者）

ご家族代表者署名　記入日　　年　　月　　日

（直筆）

（続柄）

かかりつけ医からの指示

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿さまが、心肺停止となった場合、人生会議によって選択された「心肺蘇生等を受けない」という意思決定を尊重し、心肺蘇生等は実施しないでください。

なお、この指示にあたっては標準的な医療水準等を考慮し、ご本人、ご家族及び医療・ケアチームの間で十分話合いを行ったうえで、意思決定についての合意が行われています。

かかりつけ医署名 記入日　　年　　月　　日

（直筆）

かかりつけ医の医療機関名

かかりつけ医連絡先（または訪問看護師等の連絡先）

－　　－

上記連絡先の機関名（かかりつけ医以外の連絡先記載時）

令和7年度　大阪府北河内地域救急メディカルコントロール協議会　事務局作成